

「日本女性会議 2027 丸亀」第 3 回実行委員会報告

開催日時：令和 8 年 6 月 30 日（火）午後 6 時 30 分～7 時 58 分

場 所：丸亀市役所 4 階特別会議室

出席者：実行委員 15 名

欠席者：実行委員 5 名

議 題：各部会の進捗報告について

①総務部会

- ・公募型プロポーザル（大会参加受付・宿泊手配等業務委託および大会運営等業務委託）の結果について
- ・協賛金の募集要項について

②企画部会

- ・プレ大会について
- ・分科会、全体会について
- ・「特別講演」の登壇者について
- ・大会3日目（令和9年11月14日（日））の内容について

③広報部会

- ・大会ロゴマーク等について
- ・公募型プロポーザル（大会ホームページ制作等業務）の結果について

その他

- ・シアターマドの内覧会について（チラシ配布）

議事の概要及び議決の結果は次のとおり

各部会の進捗報告について

①総務部会

- ・公募型プロポーザル（大会参加受付・宿泊手配等業務委託および大会運営等業務委託）の結果について、大会参加受付・宿泊手配等業務委託は「株式会社 JTB 高松支店」、大会運営等業務委託は「株式会社日本旅行高松支店」を受託候補者として決定したことを（資料1-3）事務局より報告。
- ・協賛金の募集計画（資料1-1）および協賛金募集要項（資料1-2）について事務局より説明。

全員異議なく、承認された。

(委員)

企画部会の資料(資料 2-4)では、予算額 400 万円となっていますが、協賛金の目標額 800 万円なのはなぜか。全体の予算額は。

(事務局)

400 万円というのは、企画部会のみ現段階の予算額となっている。企画部会、広報部会ですべての内容が決定していないので、次の実行委員会では概算にはなるが、お示しする。

(委員)

協賛金等の募集に関してのスケジュールについて、来年(令和9年)の大会の協賛金ということなので、大半の企業さんは予算を作るので、前年(令和8年)に、この募集をかけ、できるだけ早めに、関係団体を通じて、依頼文書を出したほうが良いと思う。

(委員)

実行委員が個人で寄付をしても良いか。

(事務局)

特に問題はないかと思う。

②企画部会

・プレ大会について(資料 2-1)事務局より説明。

(実行委員長)

プレ大会に関して、定員 1,000 人と結構な人数だが、市民を対象にしているのか。周知方法はどのようにするのか。(参加対象者に)知らなかったとならないようにしてほしい。

(事務局)

県を通じて、県内自治体を中心に周知させていただく予定である。また、企業向けの会報誌に折り込みチラシを入れ、周知を幅広く行う予定である。

(委員)

チラシやポスターの配布方法について伺いたい。母子愛育班や商工会議所女性会をはじめ、女性が集まって活動している団体があるため、そのような団体へチラシを届け、会員等へ周知してもらうことが有効であると考え。各団体では定例会も開催されていることから、その場で案内してもらうことで、少しずつでも周知の輪が広がっていくものと思われる。

また、「女性会議」という名称については、男性が自分には関係のないものと受け取らないような配慮が必要であると考え。

(事務局)

母子愛育班については、健康課が担当していることから、同団体にも協力を依頼する予定である。あわせて、その他団体にも周知を行っていく。また、講演会については、性別を問わず誰が聞いても有意義な内容となるよう、高尾氏に講演を依頼しているところである。周知方法についても、チラシを見れば講演内容や趣旨が十分伝わるよう工夫していきたいと考えている。

(委員)

チラシだけでなく、SNS を活用した周知についても検討しているのか。

(事務局)

日本女性会議の公式Instagramを今後開設する予定であり、準備が整い次第活用しながら周知を図っていききたい。

(委員)

講師の高尾氏について選定理由をお伺いしてもよろしいか。

(事務局)

講師については、企画部会委員に希望を募った結果、最も希望数の多かった高尾氏を候補とした。その後、スケジュールや予算面も考慮したうえで決定した経緯である。

また、講演内容については事前にWeb会議で打合せを実施し、女性に限定されない内容としてほしい旨を伝えている。性差による健康課題やウェルビーイング、身体的健康だけでなく精神的健康についても取り上げる予定であるとの説明を受けている。

・分科会、全体会について(資料 2-2)(資料 2-3)(資料 2-4)

(事務局)

分科会のテーマは「健康と医療」「暮らし方・働き方」「子ども・子育て」「労働」「DV・デートDV」「歴史・観光」「ジェンダー平等・AI や DX 関連」「防災」の8つに決定。

分科会の会場は、シアターマドの大ホール・小ホール、マルタスの多目的ホール1・2、ひまわりセンターの研修会議室1・2の4会場を予定。(午前4つ、午後4つに分けて開催予定)

全体会の会場は、シアターマドの大ホールをメイン会場とし、小ホールをサテライト会場として中継でつなぐ予定。

(委員)

昼食スペースの部屋もあるが、弁当の配布があるのか。

(事務局)

弁当を食べるためのスペースについては、当日の弁当引換場所と併せて確保する予定である。また、大会参加申込みの際に、弁当の購入有無を確認し、必要数を用意する予定である。

(委員)

分科会のテーマについて。「働き方」と「労働」はどのように内容が違うのか。

(事務局)

簡単に申し上げると、「暮らし方・働き方」はワーク・ライフ・バランスや男性の育児休業などについて、「労働」は男女の賃金格差のことなどについての内容を想定している。

・「特別講演」の登壇者について(資料 2-5)

予算や講師のスケジュール等を考慮しながら、第1候補から第5候補までを選定し、順次交渉を進めたい旨を事務局より説明。これに対し、委員からは推薦理由を共有した

うえで投票を行うことや、「特別講演」の登壇者については、集客力のある著名人を招き、シンポジウムには、より専門的・学術的な内容に踏み込んだ議論ができる有識者を招くという形もよいのではないか等の意見があり、登壇者候補を推薦した企画部会委員等から各候補者の推薦理由について説明。その後投票用紙による無記名投票で、委員1人につき2名までということで集計してはどうかとの提案があった。協議の結果、事務局が投票方法を見直し、登壇者候補一覧内の治部れんげ氏、中室牧子氏、林真理子氏を除く候補者から「特別講演」の登壇者について投票を行った。

「特別講演」の登壇者について、最終決定は企画部会にて協議すると事務局より説明。

全員異議なく、承認された。

・大会3日目(令和9年11月14日(日))の内容について
(事務局)

日本女性会議は令和9年11月12日(金)から14日(日)までの3日間開催を予定している。しかし、前回の檀原大会では参加者の多くが2日目までの参加にとどまり、3日目のイベントは参加者数が大きく減少する傾向がみられた。

このため、丸亀大会においては3日目となる11月14日(日)のプログラムについては、エクスカージョンのみの実施としたいと考えている。なお、この方針については事前に企画部会において了承を得ているが、改めて委員全体の意見を伺いたい。

また、檀原大会では3日目に学生による発表の場が設けられていたが、参加者の多くが発表者の家族や関係者等に限られ、全体として参加者数は少数であった。こうした状況も踏まえ、3日目の実施内容について協議をお願いしたい。

全員異議なく、11月14日(日)のプログラムについては、エクスカージョンのみの実施で承認された。

③広報部会

・大会ロゴマーク等について(資料3-1)(資料3-2)(資料3-3)(資料3-4)事務局より説明。

全員異議なく、承認された。

(委員)

(資料3-1 亀マーク下の日本女性会議2027丸亀)の文字のゴシックがとても堅いイメージだと、私は感じますが。

(事務局)

広報部会において別の書体も検討したが、文字の印象が弱くなり、一目で目を引くものではなかったため、現在の書体を採用した経緯である。インパクトを重視し、今回のフォントを使用している。

・公募型プロポーザル（大会ホームページ制作等業務）の結果について、「能登印刷株式会社」を受託候補者として決定したことを（資料 1-3）事務局より報告。
（事務局）

プレ大会 PR 動画の作成については大会運営等業務委託の内容に含まれるため、受託候補者である株式会社日本旅行が制作を行い、プレ大会（全体会）で上映する予定である。PR 動画の内容については主に広報部会で検討を進めるが、広報部会委員以外の委員で、盛り込みたい内容や取り上げてほしい要素などがあれば、令和 8 年 7 月 10 日（金）までに、事務局へ意見を寄せてほしい。

その他

シアターマドの内覧会について（チラシ配布）事務局より説明。

次回、第 4 回実行委員会の開催日時を決定した。

・令和 8 年 8 月 17 日（月）18：30～を予定。